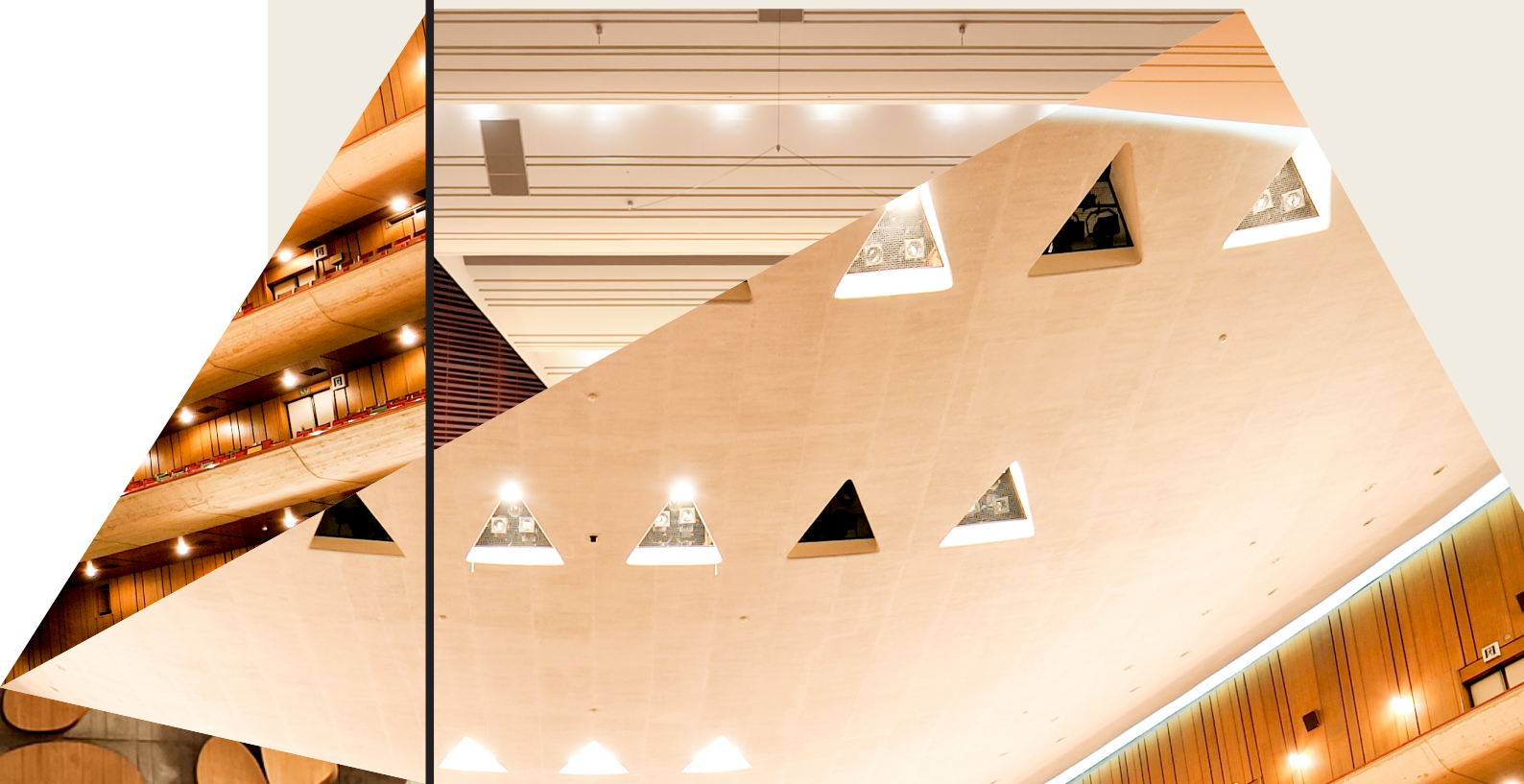


ONMYAKU

東京文化会館 公演情報

vol.
56

2014
10-12月
AUTUMN



interview

小林研一郎	2
小曾根 真	4
花柳壽輔/吉田 都 麻実れい/轟 悠	6
山下洋輔	10
H.シェレンベルガー	11
東京文化会館主催公演	13
木之下晃のレンズは語る	17
公演情報 12月	18
音楽資料室より	20
都響ニュース vol.33	21
会館からのお知らせ	22

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



©満田 聡

interview 01

《響の森》Vol.35
「ニューイヤーコンサート2015」

小林研一郎

(指揮／東京文化会館音楽監督)

2015年はコバケンの十八番

「新世界」で幕開け。

新たな年が輝かしくまばゆい光を放つ

音楽でスタートし、

よき年への願いが託される。

取材・文／伊熊よし子(音楽評論家)

2015年1月3日、小林研一郎が東京文化会館の音楽監督として初めて指揮台に立つ。東京文化会館のニューイヤーコンサートで東京都交響楽団と共演(ソリストはヴァイオリンの木嶋真優)、新春を祝う曲目の数々に聴衆を至福の世界へといざなう。

熱血マエストロとして知られる小林研一郎は、“コバケン”の愛称で親しまれている聴き手にこよなく愛される指揮者。彼のモットーは「聴衆の心のなかに入れる音楽をたくさん演奏すること」。いつも聴き手とのコミュニケーションを最優先し、プログラムも聴衆が心から楽しめる作品を組むことにこだわる。

そのコバケンが東京文化会館《響の森》Vol.35の「ニューイヤーコンサート2015」でドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」を振ることになった。この交響曲は彼にとって「バイブル」としている演奏があり、それが東京文化会館で1974年1月6日に東京フィルを振って行ったコンサートである。以来、内外で世界最高の数を誇るのではないかとと思われる300回を超える演奏を行い、「新世界」の解釈を深めてきた。今回は当館における30年ぶりの「新世界」でタクトを振る。

「《新世界》は日本人に深く愛されていますので何度も聴いてもう耳慣れた曲だと思いますが、今回はぜひ最初から最後まで聴き耳をたてる感じで聴いてほしいですね。ほくは常に作品に新たな空気を吹き込みたいと思っています。ここにこんな旋律が隠れていたのか、ここは黒人霊歌の響きが聴こえる、このフレーズは風のそよぎだったのだと、さまざまな発見があるはず。ドヴォルザークがスタッカートやテヌートを記した箇所もホールの音響により考慮すべき。ほくは東京文化会館の音響を考え、都響とのリハーサルでそうした部分に少し変更を加えるかもしれません」

コバケンはハンガリーとの絆が強いことで知られるが、チェコとのつながりも深い。2002年5月には「ブラハの春」音楽祭のオープニングに日本人指揮者として初登場し、恒例のスメタナ「わが祖国」を指揮、作品を知り尽くしたチェコの聴衆から大喝采を送られた。さらに2008年にはチェコ・フィルの定期演奏会に招かれ、「新世界」をライブ収録、これまでの伝統的な奏法、表現力に新たな視点をもって臨み、個性的な解釈と高い評価を受けた。

「チェコ・フィルの本拠地である《芸術家の家》ドヴォルザーク・ホールは、作曲家がニューヨークからプラハに戻って《新世界》を演奏した場所。その空気がいまでも感じられます。チェコ・フィルにとって《新世界》や《わが祖国》は自分たちの曲であり、伝統に即した弾き方をします。でも、ほくはそこに自分なりの解釈を盛り込んだ。当初はオケと喧嘩のような状態になりましたが、やがて和解し、いまでは互いの音楽性を理解し合う仲になっています」

コバケンの作り出す音楽は熱く強く心の奥に深く浸透してくるもの。そこにはひとりでも多くの人にクラシックを好きになってほしいという信念が息づいている。そのためには「新しいアプローチが命」と語る。これまで聴き慣れた作品にも新風を吹き込み、まったく新しい作品のように生まれ変わらせる。

「今回のプログラムはヴァイオリンの名曲が含まれています。木嶋真優さんとは海外ツアーで何度もご一緒し、呼吸は呑み込んでいます。《チャルダッシュ》はハンガリーの民俗舞曲のリ

ズムが聴きどころ、《タイスの瞑想曲》はヴァイオリンとハーブの美しい響きにストリングスがそっと寄り添います。《ツイゴインエルワイゼン》が前半の最後ですが、ここでアンコールとして、聴衆のみなさまへのお年玉を考えています。楽しみにしててくださいね」

音楽家は人生のさまざまな面で体験したこと、交流した人々、他の文化や芸術、歴史などからインスピレーションを得て、それを演奏に投影させ、音楽を肉厚なものにしていく。コバケンは先ごろアフリカを旅し、ヌーの何万頭もの群が雨雲の立ち込める方角を目指してひたすら移動していく姿を目にして深い感銘を受け、自らの人生を考えさせられたという。こうした体験が、また一歩一歩階段を上っていくことにつながると語る。

2015年の幕開けにこのコンサートを聴いた人は、きっと音楽からえもいわれぬ不思議な力を受け取り、それが活力となり、新しい年が「いい年になる」という確信を得るに違いない。これがまさに「音楽の力」である。

information!



《響の森》Vol.35
「ニューイヤーコンサート2015」

大ホール

平成27年1月3日(土) 15:00開演(14:20開場)

出演 指揮：小林研一郎(東京文化会館音楽監督)
ヴァイオリン：木嶋真優*
管弦楽：東京都交響楽団
曲目 J.シュトラウス2世：ワルツ「春の声」op.410
モンティ：チャルダッシュ*
マスネ：タイスの瞑想曲*
サラサーテ：ツイゴインエルワイゼン*
ドヴォルザーク：交響曲第9番 小短調「新世界より」op.95



小林研一郎
©青柳 聡



木嶋真優
©須藤 敬一

料 金： S席6,200円 A席4,100円 B席2,100円 ※各種割引あり
(9月2日(火)発売、友の会・都響会員先行販売中)
チケット取扱：TS 印刷 都響 e+ ローン
主催：東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協力：公益財団法人東京都交響楽団
東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒



©青柳 聡

interview 02

小曾根 真&アルトゥーロ・サンドヴァル “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団 小曾根 真 (ピアノ)

ジャズとクラシックとの出会い。ジャンルを超えた、豊かな音楽の世界を生み出す特別な場である。その起点となるのが、小曾根真だ。

取材・文／山下シオン(ジャーナリスト)

新境地を拓いたコンサート

音楽家にとって、新境地を拓くとはいかなることなのだろうか。今や世界的に活躍している小曾根真が、昨年10月に東京文化会館とバルテノン多摩で行ったコンサートでは、まさにこの問いの答えとなることが起こった。コンサートのタイトルは「Jazz meets Classic」。その名の通り、ジャンルを超えた音楽の魅力、聴衆は存分に体感した。ジャズ界の巨匠であるクラリネット&サクソフォン奏者、パキート・デリベラを迎え、第1部でクラシック音楽を演奏し、第2部では小曾根とデリベラによるジャズ・セッションという特別なプログラムだった。この日演奏された曲は、モーツァルトの「クラリネット協奏曲」やラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」など。特にこの日の「パガニーニ」は、彼自身がこれまでに手がけた「パガニーニ」とは、一線を画した表現となった。コンサート直前に訪れた

ニューヨークで聴いた演奏が、小曾根を新境地へと導ききっかけとなったのである。

「ニューヨーク・フィルのコンサートで、ロシア人ピアニストが演奏する『パガニーニ』を聴くことができました。このとき初めて“僕だったらこう弾きたいな”という気持ち、湧いてきたんです。それは“僕だったらこう弾ける”という対抗心でも、彼の解釈に対する批評や批判精神でもありません。純粋に“こう弾きたい”という気持ちでした。その気持ちに気づいたときに、僕が自分の書いたジャズの曲を弾くときはいつもそうやって弾いているとも、改めて思いました。ジャズだけでなく、クラシックにも挑戦している僕のことを器用に思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、実はクラシックの曲へのアプローチは不器用なんです(笑)。とにかく楽譜に書いてあることをちゃんと弾きたい。けれどこれはとても難しいことで、練習すれば何とか弾けるようにはなりますが、自分なりに曲を解釈して、ここはもう少しこういうふうに弾きたいとなると、明らかにテクニックの壁があって、それを乗り越えるには余裕がなければ思うようには演奏できません。しかし、逆に言えばこれは、弾き込んでいけば自由になれるということでもあるんですね。だから、『パガニーニ』も何度か経験を積んだことで、少しずつ前とは違う感じになってきていました。そして、東京文化会館のコンサートを迎えたのです。あのときの演奏を聴いてくれた方がブログで“こうも叙情的で、緩急をつけて余裕しゃくしゃくで弾いていた”と書いたのを読みました。もしそう聞こえたのなら、僕の感情がそこにあったということだと思うんです。ニューヨーク・フィルのコンサートを聴いて意識したことが表現できたという意味で、昨年の東京文化会館でのコンサートは僕にとって大きなターニングポイントだったと思います」

同じ曲を何度か弾く機会を得ることで曲への理解が深まり、自分が見出し、感じたことを表現することができるようになる。こうして小曾根が新境地を拓いた演奏を行うことで、聴衆も新しい景色を見ることができたのである。

初共演という起爆剤

あれから1年を経て行われる今年の「Jazz meets Classic」も、ジャズ・トランペット奏者のアルトゥーロ・サンドヴァルを迎え、注目すべき内容となっている。今回は第1部はショスタコーヴィチの「ピアノ協奏曲第1番」などのクラシック音楽を、第2部はジャズ・セッションで構成。お互いに面識はあったものの、初共演となるアルトゥーロ・サンドヴァルとの演奏で、新たに生み出される音楽に期待が高まる。

「ショスタコーヴィチの協奏曲は、これまでに何度か演奏し

ているので、自分にとっては気心知れた感じですが、クラシックの曲は自分がこうだと思っても、実際に本番で弾くと違うところもあります。それが音楽の怖さであり、素敵なところでもある。まるで生き物のようですね。だから演奏を重ねてある程度慣れてきて、その曲のことが分かっているつもりでも、意外と知らないこともあって、弾くたびに発見があるんです。おそらく、シェイクスピア作品を何度も演じたことのある役者に質問したら、腕のある役者ほど、回を重ねるたびに怖くなるっていうと思うんです。それと同じです。ショスタコーヴィチの協奏曲の場合は、どちらかといえばジャズに近いスタイルだと思うので、曲に入っている風刺だったり、ジョークだったり、をいわずら好きの僕としてはその世界観を僕なりに演奏したいですね。ロシアの曲はロシアらしくと考えて弾く人もいますが、僕はピアニストによって変わっていいと思うんです。演奏する人の数だけ、ショスタコーヴィチがある。変わるからこそ面白いんです。さらに共演する指揮者やオーケストラ、あるいはソリストが変われば、僕の弾き方も変わってくる。今回はジャズのミュージシャンであるアルトゥーロだから、何か仕掛けてくるかもしれない(笑)。リハーサルで探りながら、新しい発見があることを楽しみにしています」

音楽の楽しさを共有するワークショップ

そして、昨年好評だったワークショップも、再び開催される。言葉で伝えることにも長けている小曾根は、ワークショップを通して何を伝えようとしているのか。「音楽って何だろうということを経験する角度から伝えたいですね。クラシックのファンの方にジャズという音楽に出会っていただきたいし、ジャズのファンの方にはクラシックという音楽に出会って欲しい。音楽は言葉と同じで気持ちを伝えるものですから、音楽を聴いて何を感じるかということ大切にしたい。ワクワクしたり、自然と体が動き出したり、涙があふれ出たり。僕はパディ・リッチのドラマ演奏を聴いて涙したことがあります。あそこまで素晴らしい演奏を聴くと、バラードでも叙情的でもないけれど、人は音楽に感動するのだと思いました。それはその人から出ているエネルギーですね」

理屈ではなく、そこにある音楽を聴いて何を受け取るのか。音楽の本質を体験できるコンサートであり、ワークショップとなるだろう。

information!

Music Weeks in TOKYO 2014 メイン公演
小曾根 真 & アルトゥーロ・サンドヴァル
“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

10月24日(金) 19:00開演(18:20開場) **東京芸術劇場 コンサートホール**
 10月25日(土) 19:00開演(18:20開場) **オリンパスホール八王子**

出演 ピアノ:小曾根 真
 スペシャル・ゲスト:アルトゥーロ・サンドヴァル(トランペット)
 指揮:ジョシュア・タン* 管弦楽:東京都交響楽団* *第1部のみ出演

曲目 《第1部》
 パーンスタイン:「キャンディード」序曲
 ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第1番 八短調 op.35 (ピアノとトランペット、弦楽合奏のための協奏曲)
 ラヴェル:ポレロ(小曾根スペシャル)
 《第2部》
 ジャズ・セッション 小曾根 真×アルトゥーロ・サンドヴァル

小曾根 真 © Kiyotaka Saito
 アルトゥーロ・サンドヴァル
 ジョシュア・タン

料 金: S席5,000円 A席4,000円
 B席3,000円 学生席1,000円
 チケット取扱: TS 国 郵 協 会+ e+ ネット (10/25のみ)
 主催: 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

information!

Music Weeks in TOKYO 2014 メイン公演特別企画
小曾根 真ワークショップ「自分で見つける音楽 Vol.2」
 よみうり 大手町ホール

12月9日(火) 19:00開講(18:30開場)

出演 小曾根 真

料 金: 一般1,500円 25歳以下1,000円
 チケット取扱: TS 国 郵 協 会+ e+ ネット
 主催: 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

interview 03

舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ Vol.2

花柳壽輔／吉田都／麻実れい／轟悠 (宝塚歌劇団)

ふだん交わることのない舞台人のトップランナーたちが、12月に競演する。

今までにない試み、しかもかつてないスケールだ。

舞台を半年後にひかえてスターが一堂に会した。

取材・文／石井達朗(舞踊評論家)



記者発表(2014年6月9日) ©青柳 聡

これだけの方が承諾して下さるか、皆目わからなかった

石井: 日本舞踊というのは、その外側から見ると、世界のダンスのなかでも独自の美学をもっているが、なにか閉ざされているような印象があります。その意味で「日本舞踊×オーケストラ」の試みはそんな状況を打ち破る、しかも大きなスケールで外側に向けて開くということがあると思います。今回、再度挑戦するにあたり、どんなお気持ちでしょうか。

花柳: 2度目のほうがずっと難しいです。おっしゃるように日本舞踊というのは古い世界ではありますが、同時に明治以来、新しい創作も行なわれてきました。日本舞踊は世界的に見てもいいものを持っているのに、なかなか外に出てゆくということがないのですね。

石井: フラメンコはいまや国際的ですけどね。

花柳: それに日本舞踊ではプロとアマの区別ははっきりしてな

い。日本舞踊の人口も減ってきてます。その意味で難しい状況にあります。そういうこともあり東京文化会館からこのお話をいただいた時には、一つの突破口になると思ったのです。2回目につながったということは、1回目がよかったからかなと自負している面もあるし、怖い面もあります。構成・演出からすべて任されて「何をやってもいいです」と言われると責任は大きいし、嬉しくもあり怖くもあります。

石井: 今回はとくに日本舞踊に加えて、宝塚男役のトップスターの轟悠さん、宝塚退団後、女優として第一線で活躍する麻実れいさん、そしてバレリーナとして頂点にいらっしゃる吉田都さんが加わり、幅が大きく広がっています。なにか大きな目論見があつてのことかと思っていましたら、先程の記者発表を聞いておると、もとはと言えば壽輔さんがこの方々の大ファンであることが原因であるとか？

花柳: それはあります(笑)。ただこれだけの方が承諾してく



ださるかどうか、皆目わからなかったのです。都さんの場合は、本当にファンだったんです(笑)。引き受けて下さるかどうかはわからなかったのですが、麻実さんは古くからの付き合いがありますが、長い間話すチャンスがありませんでした。轟さんは今までわりに会う機会がありました。宝塚は今年が100周年なんですね。友人の植田紳爾さんに相談したときに麻実れいさんに出てもらうということは、すぐに一致しました。麻実さんの日本舞踊に関してはわからないのですが、退団後、この浮き沈みの激しい芸能界ですとトップでいられるというのは素晴らしい。努力もあるし、彼女は出演する作品を選んでいます。とくに印象に残るのは『サド侯爵夫人』。ああいうゴージャスな雰囲気を持つ女優さんは日本に少ないんです。轟さんの場合は現役でトップ中のトップで忙しいのはわかっていたけれど、無理やり口説いちゃったんです。偶然にわたしが考えたとおりに実現したというのは、冥利につきます。

石井: そういう壽輔さんの個人的なご興味が、自ずとこの企画の内容を更に大きく進展させることになったということ、感心しております。

わたしの場合は本当に古典一筋だったので…

石井: 吉田都さんは名実ともに日本が誇るトップのバレリーナです。去年だったか一昨年だったか、五反田のゆうほうとホールで都さんの舞台が終わり劇場から出てくる時、観客のある女性が「都さん、すごすぎる!」と叫んでいたのが今も耳に焼き付いています。ただし、ほとんど古典だけを踊ってきた都さんにとっても今回は新たな挑戦ですね。

吉田: 「どうしよう」と、怖い部分もあります。

石井: 都さんの『ボレロ』を振付けるアレッシオは、彼が日本で活動を始めたころからよく知ってます。実験的で前衛的な作品が多いのですが、ダンス・クラシックの作品もしっかり振付けられます。コンピュータで作曲もする才能豊かな人です。都さんが『ボレロ』を踊るというだけでもエキサイティングなのに、群舞

はすべて日本舞踊の人たちというのも驚きです。

麻実: それは素敵!

花柳: 群舞は36人出演します。

吉田: 36名の絞付袴姿の方々との舞台はとても豪華で見応えのあるものとなりそうです。

石井: 都さんの舞踊人生のなかでも初めてのことでしょ。

吉田: はい。アレッシオさんは踊りだけでなく、空間や照明の使い方も興味深いので、そちらの方も今から楽しみです。

花柳: 『ボレロ』の発端はやはりベジャールなんです。ベジャールの『ザ・カブキ』の時にずっと稽古に付いてまして、彼から食事をご馳走になった折「ボレロをやりたい」と言ったら、彼が「君ならやれるかもしれない」と言ったんです。それがずっと頭に残っています。

石井: その壽輔さんの想いが実現するというのが、ばりばりのベジャールダンサーではなく、吉田都さんというのが素晴らしいです。しかも36人もの日本舞踊の人たちと。都さんはこの話がきたときに、やはりすぐには「イエス」とはならなかったですか。

吉田: いえ、「是非!」と思いました。でも、私にとって『ボレロ』といえばベジャールですし、畏れ多いと思っていましたが、壽輔先生が直接ベジャールさんと『ボレロ』についてお話をなさっていると伺い、それならば是非チャレンジさせて頂きたいと思いました。

石井: 麻実れいさんは、「もと宝塚」なんてこと忘れてしまうほど、一人の女優として多方面で大活躍していますが、花柳壽輔さんとデュオを踊るなんてことは考えてもみなかったのでは？

麻実: 宝塚時代は日本舞踊の指導を受けていたので、よく存じてはおりました。

花柳: 退団後はほとんど会ってなかったですね。

麻実: 月日は飛んでしまっ、お目にかかるにあの時代に戻ってしまいます。宝塚で指導を受けた先生なので、すごく安心感があります。

石井: これは、壽輔先生と麻実れいさん、それに衣裳を森英恵さんがなさるといって豪華な組合せです。れいさんは演劇人とし





て台詞をしゃべりたいのでは？

麻実: いえいえ(笑)。確かに舞台ではいつも言葉をしゃべってきましたが、このお話をいただいた時、こんな機会は滅多にないので壽輔先生の胸をお借りして、演劇の道、人としての生き方など、いろいろなことを教えていただこうと思っています。

石井: これは、れいさんの長い舞台歴でもなかったことですね。

麻実: もう大変なことです。いまはご迷惑をかけずに責任を果たしたいという気持ちです。

花柳: 衣裳は『トゥーランドット』を思い浮かべています。パピヨン、すなわち蝶々ですから、高いところで蝶々が羽根を広げているという、幕切れだけは考えているんです(笑)。れいさんはそういう衣裳が似合う人だと思います。

「わたしできません!」という感じでした

石井: 壽輔さんの頭のなかでは、日本もヨーロッパも関係なくいろいろなものが混ざりあっていて、まさにフュージョンですね。

花柳: 若い時からそういうことが好きだったんです。今になりそれが役にたっています。こういう出会いがあるんだなと思うと、若い時の経験ってとても大事ですね。夢はこの作品をもってパリに行くことです。

石井: それは素晴らしいです。宝塚100年という話が先ほどありましたが、ディアギレフやニジンスキーがパリで活躍したバレエ・リュスの時代からも100年ほど経っているのでもいい機会です。轟悠さんは男役として押しも押されぬトップスターであり続けています。轟さんがなさる出雲の阿国、その美術を横尾忠則。今から興奮してきます。阿国は男装したと言われてますが、今回のお話があったときにはどう思われましたか。

轟: 「わたしできません!」という感じでした(笑)。すごく怖がりなんです。舞台生活は長いのですが未だに緊張しますし、吉田都さんがバレエのなかで生きてきたように、わたしは宝塚の男役ということしかやってないのです。でもこの機会に自分が気付かなかった何かを知ることになればいいなと思い、やらせていた

だくことにしました。日本舞踊は幼少のころからやっていて、名取をとって師範もいただきたいという気持ちはずっとあったんです。でも宝塚って、タップもモダンダンスもやらなきゃいけない、お茶の授業もあるしということで、おざなりになって。でも日本舞踊に対する想いは全く消えていませんし、大好きです。

石井: 轟悠さんのファンの方たち、たくさんいると思うのですが、ファンの方たちって悠さんが子供のころからそれほど日本舞踊にはまっていたってことご存知ですか。

轟: ええ、そういう話もすることがありますし、他には空手をやってたなんて話も(笑)。

石井: いろいろな意味で悠さんは出雲の阿国にぴったりですね。

花柳: 昔、春日野八千代という名男役がいたんですが、彼女亡きあと、この人(轟悠)を第二の春日野八千代に育てなければいけないなど。日本舞踊ができる男役って少ないんですよ。

石井: では最後にひと言ずつ、このプロジェクトに対する想いをお願いいたします。

吉田: 今回は、壽輔先生からこのようなお話を頂き、大変光栄に思っております。舞踊家として、人間として、更に勉強させて頂ける有り難い機会ですので、精一杯の力を出し切りたいと思います。

麻実: わたしは来年で舞台生活が45年になるんですね。そんな節目の大事な時にいただいたことなので、思い切り無我夢中でやりたいなと思っています。素敵なのがきちんと残るようにやっていきたいです。

轟: 壽輔先生に巻き込まれながら、この糧となる経験を宝塚歌劇でも活かしていけるのではと思っています。今、自分が持っているものを全部出し切るようにやりたい、表現できるものはすべて表現したい…と。

石井: 素晴らしいですね。

轟: でも当日、逃げ出したくなるんじゃないかと(笑)。

麻実: 一緒に逃げましょう(笑)。

石井: 宝塚組、逃げ出さないようにお願いします(笑)。各界のトップランナーたちが一同に集うこのプロジェクト、お話を聞けば聞くほど期待が広がります。ありがとうございました。



information!



舞台芸術創造事業 日本舞踊 × オーケストラ Vol.2

大ホール

12月13日(土) 18:30開演(17:45開場) / 12月14日(日) 15:00開演(14:15開場)

葵の上(源氏物語より)

音楽 黛敏郎「BUGAKU(舞楽)」より第2部、「呪」
振付 藤蔭静枝
出演 市川ぼたん、花柳寿楽、藤間恵都子、花柳大日翠、坂東三信之輔 他 群舞20名

構成・演出 花柳壽輔
監修 植田紳爾
指揮 園田隆一郎
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

美術 堀尾幸男
照明 沢田祐二
舞台監督 菅原多敢弘

ライラックガーデン

音楽 ショーソン「詩曲」
振付 五條珠實
出演 藤間蘭黄、水木佑歌、花柳源九郎、尾上紫 他

いざやかぶかん

音楽 ガーシュウィン『ボーギーとベス』組曲より「キャットフィッシュ・ロウ」
振付 若央りさ
振付補 花柳達真
美術 横尾忠則
出演 轟悠 他 総勢41名



花柳壽輔



園田隆一郎

パピヨン

音楽 ドビュッシー「夜想曲」
振付 花柳壽輔
衣裳 森英恵
出演 花柳壽輔、麻実れい



吉田都
©政川慎治



麻実れい



轟悠(宝塚歌劇団)
©宝塚歌劇団

ボレロ

音楽 ラヴェル「ボレロ」
空間構成・振付 アレッシオ・シルヴェストリン
振付 花柳輔太郎
出演 吉田都、日本舞踊家男性群舞36名

料 金: S席12,300円 A席10,300円 B席8,200円 C席5,200円 D席3,200円 ※各種割引あり

チケット取扱: TS 宝塚 歌舞伎 宝塚

主催: 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

企画協力: 公益社団法人日本舞踊協会

協力: 宝塚歌劇団/スタジオアーキタンツ/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

東京文化会館ザ・イヤーパートナー: 上野精養軒

interview 04



©青柳 聡

プラチナ・シリーズ 第1回 山下洋輔 (ピアノ)

国内屈指の音響美の殿堂に弾ける
山下洋輔の“新世界”。聖なる夜に捧げる、
ピアニストからのクリスマスの贈り物。

取材・文/悠 雅彦(音楽評論家)

かれこれ半世紀近く山下洋輔の音楽に親しんできた私には、彼が4、50年前と変わらぬ若々しさを保ったまま東奔西走している姿を見るにつけ、彼のどこにあの爆発的エネルギーが潜んでいるのか不思議に思えてならない。音響の良さで定評のある東京文化会館小ホールでの初のソロ・コンサートに臨むことになった氏の話がきける機会を得て、私が開口一番訊ねたのもこのことだった。だが、彼の答えはこともなげだった。「いやこの30年ほど鍼(はり)治療を受けている以外には、特に何もしていませんよ」。

とはいっても、フリー・ジャズ・スタイルの演奏で日本のジャズ界を席巻していた当時(60年代末~70年代)と違って、今日の山下洋輔はソロ・ピアノ、スペシャル・ビッグバンド、さまざまな共演者とのセッション(タモリ、林英哲、茂木大輔らを含む)、もう25年以上も活動し続けるニューヨーク・トリオ、クラシックのオーケストラとの共演、さらには作曲家、プロデューサー、音楽大学プロフェッサーとして、体が幾つあっても足りないほどの忙しさ。その中でよくこんなに日本各地や世界中を飛び回るものだと感心するのは当然だろう。加えて、1942年生まれ彼は一昨年に古希を迎えた。70代と言え、無理が許される年齢ではなくなる。その彼が挟間美帆、高橋信之介、スガダイロー、寺久保エレナ等の傑出した才能を発掘して世に送り出したり、近年は佐渡裕や広上淳一らの指揮するオーケストラと自作のピアノ協奏曲を演奏したり、一柳慧のピアノ協奏曲「JAZZ」を初演するなど、まさにジャンル横断の活躍を強く印象づける。そのむかし彼がニュー・ジャズの先頭を走っていたころ、音大出身でありながらクラシックとは無縁の、むしろ対極的な演奏を繰り返していた彼を思うと隔世の観がする。

「ジャズのことを考えれば考えるほど」。一息入れて彼は話を

継いだ。「ヨーロッパ音楽なしには成り立たなかったと分かる。小論文『ブルーノート研究』にも書いたけど、アフリカとヨーロッパが新大陸で出会ったという不幸な出来事のおかげでジャズが生まれた。比類のない人類史的な出来事というインパクトを内包しているんですね。だからこそジャズが世界中に広まった。その要素の一つであるヨーロッパ音楽も知りたくなる。そこで、音大に行こうと思ったけど、ピアノ科には入れっこない。作曲科ならと考えて国立音大を受けたわけです」。

面白い話はさらに続く。「のちにこの文化会館で追悼演奏をする当時の国立音大作曲家教授、溝上日出夫先生とピアノ教授の深海小夜子先生についてにわかレッスンを受けた。深海先生の前で「I'll Remember April」を弾いて、少し感心された。でもそのあと、モーツァルトをやったら爆笑された。モーツァルトには聴こえない!って。それで、受験で何とかするのはこれしかないって出されたのがベートーヴェンのソナタ第6番へ長調。この曲なら、展開部の三連音符でスイングしちゃっても大丈夫。そこが終わったら試験終わりの合図が鳴るから、なんとか練習しなさいって。その通りにやったらパスした。素晴らしい先生だと感謝しています!」。

「ボレロ」や「ラブソディ・イン・ブルー」などの山下流クラシックが近年、「展覧会の絵」や「新世界」で他に類を見ないユニークな演奏へと発展し、ファンの注目の的となっている。私が秘かに注目しているのはヨーロッパ音楽へのこうしたアプローチと多彩な成果が、とりわけ彼のソロ・ピアノに反映されはじめていることだ。近年の彼がソロ・ピアノに新しい境地を見出したように見えるのも、これと無関係ではないと思う。以前よりいっそう喜々としてピアノに対峙しているように見える。その心境を彼はこう話してくれた。「例えばクラシックだと、ソナタ形式のように

まずテーマがあって、次に展開部がくる。テーマが変形しながら発展していくスリルがたまらない。そういう素晴らしさと出会う感覚はどの音楽にもあるけど、ほくの場合ソロ・ピアノで、その体験をやっている。共演者のいるジャズだと、普通、32小節の中に決まったコード進行があって、聴く人にはそれが分かっている。その中で即興演奏をやるのが決まりで、テンポも変えてはいけなし、あまり勝手は許されない。でも、ソロだと、特に最近、そんなことは一切忘れて、例えばあるメロディが気に入ったらそこだけ繰り返して、さらに変形させて発展させていく。ソロだからできることですね。実際バッハもモーツァルトもみなそういう即興演奏が出来た。彼らはそれを後でスコアに書き残す能力を持っていた。そこがほくとの違いだけ(笑)」。

山下洋輔の快気炎はとどまることがない。定評ある音響美の殿堂で、山下洋輔がどんなクリスマス・ソロ・ピアノ・コンサートを披露してくれるか。楽しみが尽きない。

interview 05

プラチナ・シリーズ 第2回 ハンスイェルク・ シェレンベルガー (オーボエ)

シェレンベルガーが心から信頼する
堀米とともに贈る“バッハ・コントラスト”。
バッハのトリオ・ソナタを
まとめて体験できる貴重さに加え、
バロックと現代との対比も絶妙に刺激的!

取材・文/松本 學(音楽評論家)

ベルリン・フィルの元首席オーボエ奏者であり、アンサンブル・ウィーン=ベルリンの創設者兼元メンバー、そして現在はオーボエ奏者のみならず指揮者としても活躍するハンスイェルク・シェレンベルガーが、来年1月のプラチナ・シリーズに登場し、堀米ゆずりたちと共演する。

東京文化会館には色々と思い出がおりだと思えます。

「私がベルリン・フィルの正団員として初めて来日したのは1981年ですが、その時の会場が東京文化会館でした。プログラムはベートーヴェンとブラームスの交響曲をたくさん(笑)。

information!

Music Weeks in TOKYO 2014
プラチナ・シリーズ 第1回
山下洋輔
～クリスマス・ジャズ・ナイト～

12月25日(木) 小ホール

19:00開演(18:30開場)

出演 ピアノ:山下洋輔
曲目 当日発表



山下洋輔
©Jimmy & Dena Katz

料 金: S席5,000円 A席4,000円 B席2,500円(B席売切)
チケット取扱: TS 交通 観光 e+ 予約
主 催: 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



©青柳 聡

カラヤンの指揮で、私は殆どの曲を演奏しました。そして、私のベルリン・フィルでの最後のツアーも東京文化会館なのです。2000年のアバドとの《トリスタンとイゾルデ》とベートーヴェンでのツアーで、私はベートーヴェンを担当。ですので、まるでブリッジのように、最初と最後をこの素晴らしいホールで飾ったというわけです」

今回は小ホールですが、そちらにもお出になってますね。

「一昨年、オーボエ・ガラで出演しました。こちらのサウンドもとても好きですね。ウィーンのエジークフェラインにあるブラームス

ザールを思わせるような感じで、とても美しく、温かいサウンドです]

今回は再びここに戻り、日本人アーティストとアンサンブルを聴かせてくれます。バロックとコンテンポラリーを組み合わせたプログラムは面白いですね。

「バッハ・コントラスト」と名付けてみました。全体は、フレームのようにバッハの4つのトリオ・ソナタで取り囲み、その中にコントラストが利いた現代の音楽を2つ挿み込むというようになっています。ひとつは、ハインツ・ホリガーが作曲したオーボエのためのソナタ。彼が17歳の時に、彼の先生だったカサニョさんが亡くなられたのを悼んで書いた作品です。その後の彼はとても先鋭的な作風になりますが、このソナタは技術的には非常に難しいけれども、音楽的にはどちらかというと伝統的で、とても美しい、古典的な作品に仕上がっています。ちょっとカンディンスキーの初期の絵画などを彷彿させますね。後半では堀米さんが三善晃さんの書いた《鏡》を独奏します。美しいコンビネーションの構成になったと思います]

そもそも、どうしてバッハのトリオ・ソナタを選んだのでしょうか。

「堀米さんとこの編成で演奏するのが好きというのがありますし、オーボエとヴァイオリンの組み合わせがとてもフィットする曲目だと思ったからです。また、別々の作品でのアンソロジーでなく、同じタイプの組み合わせで異なるカラーを出してゆきたいと思いました。実はこれらのトリオ・ソナタをまとめて採り上げるのは、私にとっても初めての挑戦です。元々この4曲はフルートのために書かれたもので、オーボエのオリジナルの作品はひとつもありません。そのため、聴きやすい割に、オーボエで

吹くにはとても難しいのですよ(笑)』

これまでに堀米さんとの共演経験はありますか？

「もちろん。彼女とお付き合いはとても長く、80年代から、クレームルが主宰していたロッケンハウス室内楽音楽祭などで共演しています。昨年に行われた私の岡山フィル首席指揮者就任演奏会ではブラームスのヴァイオリン協奏曲をご一緒しました。本当に素晴らしい演奏でした」

シェレンベルガーさんはかつてカール・リヒターのミュンヘン・バッハ管で演奏体験がありますが、ピリオド楽器、ピリオド演奏についてはどうお考えでしょう？

「歴史的楽器というのは面白いです。どういう反応をするのか、どのような音が出るのか……。しかしながら、それが絶対ではありません。最終的には私たちにとって楽器というのは、“媒体”であり、“道具”なのです。最も大事にすべきものは、何よりも音楽です。フレーズの形だったり、強弱であったり、アゴギクの使い方であったり、そういうものを解釈してゆく。つまり、私たちは常にその音楽に対する翻訳者なのです。もちろん、これはあくまでも個人の選択であり、歴史的楽器や演奏に専念されるというのもよいと思いますよ。アーノクールは音楽の根源を深く掘り下げてゆく方ですが、私はそういうのが好きですね。私はモダン楽器を使いながら、バロックの考えを追究して演奏します。若い頃に受けたリヒターからの影響というのは今でもあり、バッハの内なるもの、音楽の根源というものを大事にしながら演奏したいと思っています」

information!



Music Weeks in TOKYO 2014 プラチナ・シリーズ 第2回

ハンスイェルク・シェレンベルガー&堀米ゆず子&中野振一郎 他
～バッハ・コントラスト～

小ホール

平成27年1月21日(水) 19:00開演(18:30開場)

出演 オーボエ:ハンスイェルク・シェレンベルガー
ヴァイオリン:堀米ゆず子
チェンバロ:中野振一郎
チェロ:山本 徹

曲目 J.S.バッハ:トリオ・ソナタ ト長調 BWV1039
ハインツ・ホリガー:独奏オーボエのためのソナタ(1956/1999)
J.S.バッハ:トリオ・ソナタ 二短調 BWV1036
J.S.バッハ:トリオ・ソナタ ハ長調 BWV1037
三善 晃:ヴァイオリンのための「鏡」(1981)
J.S.バッハ:「音楽の捧げもの」BWV1079より トリオ・ソナタ



H. シェレンベルガー ©Gerhard Winkler



堀米ゆず子 ©T.Okura



中野振一郎 ©福見伸介



山本 徹 ©K.Miura

料 金: S席5,000円 A席4,000円 B席2,500円(B席売切)
チケット取扱: TS 国 国 e+ 国
主催: 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)



東京文化会館主催公演

Music Weeks in TOKYO 2014 プラチナ・シリーズ

小ホール

第3回 ミツシャ・マイスキー
～巨匠マイスキーの無伴奏～

平成27年2月1日(日) 15:00開演(14:30開場)

出演 チェロ:ミツシャ・マイスキー
曲目 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲
第1番 ト長調 BWV1007
第4番 変ホ長調 BWV1010
第5番 ハ短調 BWV1011



ミツシャ・マイスキー ©Hideki Shiozawa

第4回 仲道郁代&川久保陽紀
～ベートーヴェンとブラームスの真髄へ～

平成27年2月27日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演 ピアノ:仲道郁代
ヴァイオリン:川久保陽紀
曲目 ベートーヴェン:
ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調「春」op.24
ピアノ・ソナタ第21番 ハ長調
「ワルトシュタイン」op.53
ブラームス:
3つの間奏曲 op.117
『6つの小品』より第2番 間奏曲
イ長調 op.118-2
ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調
「雨の歌」op.78



仲道郁代 ©Kiyotaka Saito



川久保陽紀 ©Yuji Hori

第5回 白井光子&ハルトムート・ヘル
～世界最高峰のリートデュオ～

平成27年3月6日(金) 19:00開演(18:30開場)

出演 メゾソプラノ:白井光子
ピアノ:ハルトムート・ヘル
曲目 ブラームス:
ああ、この眼差しをそらして op.57-4
昔の恋 op.72-1
ネコヤナギ op.107-4
夕べの雨 op.70-4
おお、帰り道さえわかれば(郷愁II) op.63-8
森の静寂の中で op.85-6
さすらい人 op.106-5



白井光子 ©堀田正矩



ハルトムート・ヘル ©堀田正矩

リスト:
ぼくの歌には毒がある
御身、天から来たり
ざわめくのは風
マルリングの鐘よ
R.シュトラウス:
私の頭上であなたの黒髪を op.19-2
帰郷 op.15-5
おお、あなたが私のものなら op.26-2
ひそやかな歌 op.41-5
ああ、恋人よ、もう別れなければならない op.21-3
親しき幻 op.48-1 他

料 金: 第3回 S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円
(全席売切)
第4・5回 S席5,000円 A席4,000円 B席2,500円
(B席売切)

チケット取扱: TS 国 国 e+ 国
主催: 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

Music Weeks in TOKYO 2014 ミュージック・エデュケーション・プログラム

小ホール

〈コラボレーション・プログラム〉

仲道郁代ワークショップ ～実験&実演でわかる!ピアノのしくみ、ホールの秘密

平成27年2月21日(土) 15:00開講(14:30開場)

出演 仲道郁代
対象 中学生以上(小学生入場可)



仲道郁代 ©Kiyotaka Saito

料 金: 一般1,500円 高校生以下1,000円
チケット取扱: TS 国 国 e+ 国
主催: 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

第12回東京音楽コンクール優勝者コンサート

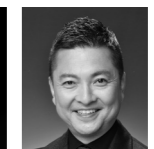
大ホール

平成27年1月12日(月・祝) 14:00開演(13:20開場)

出演 ソリスト:ピアノ、弦楽、金管、声楽の各部門優勝者
指揮:円光寺雅彦
管弦楽:読売日本交響楽団
司会:朝岡 聡



円光寺雅彦 ©三浦興一



朝岡 聡

曲目 9月下旬頃発表予定

料 金: 指定2,000円 ※各種割引あり
チケット取扱: TS 国 国 e+ 国
主催: 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/読売新聞社/花王株式会社/東京都
協 賛: あいおいニッセイ同和損害保険株式会社/有馬温泉 有馬グランドホテル/株式会社コンサートサービス/
サントリーホールディングス株式会社/東京ガス株式会社/東京地下鉄株式会社/三井住友海上火災保険株式会社/森平舞台機構株式会社
東京文化会館ザ・イヤーパートナー:上野精養軒
協 力: 新日本フィルハーモニー交響楽団/東京交響楽団/東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団/東京都交響楽団/
東京フィルハーモニー交響楽団/日本フィルハーモニー交響楽団/読売日本交響楽団/東京オーケストラ事業協同組合

モーニングコンサート

小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクール入賞者による朝の1時間コンサート。若きアーティストの演奏とお話をお楽しみください。

vol. 80 12月12日(金)

出演 ピアノ：黒岩航紀 *第11回ピアノ部門第1位及び聴衆賞
 曲目 ショパン：幻想ポロネーズ 変イ長調 op.61
 ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー 他



黒岩航紀

vol. 81 平成27年1月14日(水)

出演 ヴァイオリン：篠原悠那 *第11回弦楽部門第2位
 ピアノ：河地恵理子
 曲目 ラヴェル：ツイガース
 ワックスマン：カルメン幻想曲 他



篠原悠那

時間：11:00~12:00(10:30開場)
 料金：自由500円
 チケット取扱：TS 国楽 E+ 音楽記

vol. 82 平成27年2月18日(水)

出演 フルーツ：多久和怜子 *第11回木管部門第2位
 ピアノ：石橋尚子
 曲目 モーツァルト：ロンド ニ長調 Anh.184
 林光：フルート・ソナタ 他



多久和怜子

vol. 83 平成27年3月3日(火)

出演 ソプラノ：嘉目真木子 *第10回声楽部門第2位(最高位)
 ピアノ：武田朋子
 曲目 シャルパンティエ：オペラ『ルイズ』より“その日から”
 プッチーニ：オペラ『ジャンニ・スキッキ』より
 “私のお父さん” 他



嘉目真木子

主催：東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 協賛：上野中央通り商店会
 東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒

創遊・楽落らいぶ

—音楽家と落語家のコラボレーション—

小ホール

500円で音楽と落語を楽しめるお得な1時間コンサート。
 12月には『笑点』でおなじみ、人気落語家・春風亭昇太が登場します。

vol. 28 12月18日(木)

出演 落語：春風亭昇太
 ヴァイオリン：加藤玲名
 作編曲：内田英介 他
 内容 第1部：ミニコンサート
 第2部：落語と音楽の
 コラボレーション
 「空に願いを」



春風亭昇太



加藤玲名

vol. 29 平成27年2月26日(木)

出演 落語：三遊亭遊雀 他



内田英介

時間：11:00~12:00(10:30開場)
 料金：自由500円(Vol.29 12月18日(木) 発売)
 チケット取扱：TS 国楽 (Vol.28のみ) E+

主催：東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/
 公益社団法人落語芸術協会
 共催：日本音楽家ユニオン/
 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]
 東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒

ティートタイムコンサート

大ホール
 ホワイエ

屋下がりのひととき、大ホールホワイエで行う
 東京都交響楽団メンバーによる無料コンサートをお楽しみください。

12月16日(火)

平成27年3月4日(水)



時間：13:00~13:40(12:30開場)
 料金：入場無料
 主催：東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/
 公益財団法人東京都交響楽団

青少年のための舞台芸術体験プログラム
 はじめての楽しいコンサート

小ホール

未就学児とその家族を対象に、
 生の演奏を体験する機会をお届けします。

平成27年1月31日(土)

出演 ピアノ：白石光隆
 ヴァイオリン：瀧村依里
 *第3回弦楽部門第1位
 曲目 J.シュトラウス：ラデツキ行進曲
 ラヴェル：ツイガース 他



白石光隆
 ©岩切 等



瀧村依里

時間：14:00~15:00
 対象：未就学児(3~6歳)と保護者およびその家族
 ※大人だけの入場および3歳未満のお子さまの入場はできません。
 料金：入場無料
 【事前申込制：詳細は10月以降(予定)に発表します】
 主催：東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室
 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

バックステージツアー

大ホール

普段目にするのことができない舞台裏、舞台機構、楽屋エリア、ア
 ティストたちが舞台袖の柱や壁に残したサインや記念パネルの数々
 の見学、照明操作体験など、見どころいっぱいツアーです。

平成27年1月14日(水) 15:00 / 19:00 開始

平成27年3月17日(火) 10:30 / 14:00 開始

対象・定員：中学生以上、各回60名程度
 料金：参加費(保険料含む) 500円(12月6日(土) 発売)
 チケット取扱：TS
 主催：東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒

Music Weeks in TOKYO 2014 まちなかコンサート

01. 芸術の秋、音楽さんぽ

上野公園及び近隣にある様々な文化施設などで無料コンサート「まちなかコンサート~芸術の秋、音楽さんぽ~」を開催します。
 東京音楽コンクール入賞者を中心としたアーティスト達の若き溢れる演奏を、コンサートホールとは一味違った趣のある空間でお楽しみください。

日時・会場	9月25日(木)	14:00~/15:00~	国立西洋美術館 本館1階ロビー
	9月27日(土)	11:00~/12:20~/13:50~/15:10~	江戸東京たてもの園 子宝湯
	9月28日(日)	11:00~/12:20~/13:50~/15:10~	江戸東京たてもの園 子宝湯
	10月4日(土)	11:00~	東京国立博物館 表慶館エントランスホール
		13:00~/15:00~	国立科学博物館 日本館中央ホール
		13:00~/15:30~	旧岩崎邸庭園 芝庭【荒天時：洋館内】
10月5日(日)		13:00~/15:00~	恩賜上野動物園 動物園ステージ【雨天中止】
		13:00~/15:30~	旧岩崎邸庭園 芝庭【荒天時：洋館内】
10月11日(土)		11:00~	東京国立博物館 表慶館エントランスホール
10月18日(土)		13:00~/14:00~	旧吉田屋酒店【雨天中止】
10月19日(日)		13:00~/15:00~	国立国会図書館 国際子ども図書館 3階ホール
11月1日(土)		14:00~/15:00~	東京都美術館 1階 佐藤慶太郎記念アートラウンジ
11月2日(日)		14:00~/15:00~	東京都美術館 1階 佐藤慶太郎記念アートラウンジ



江戸東京たてもの園



上野動物園



国際子ども図書館

料金 金 入場無料(施設への入館料等が別途必要な場合があります)

02. まちなかスペシャル Vol.1 ヨーロッパ音楽旅行

東京音楽コンクールの入賞者を中心としたアンサンブルによる「音楽の旅」をお楽しみください。

平成27年1月17日(土) 14:00開演(13:30開場) 小ホール

出演 ナビゲーター：辰巳琢郎
 ヴァイオリン：井上静香 *第6回弦楽部門第2位及び聴衆賞
 ヴァイオリン：猶井悠樹
 ヴィオラ：青木篤子 *第2回弦楽部門第1位
 チェロ：富岡廉太郎
 フルーツ：上野由恵 *第2回木管部門第1位
 オーボエ：本多啓佑
 クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン *第11回木管部門第1位及び聴衆賞
 ファゴット：黒木綾子
 ホルン：氏家 亮 *第10回金管部門第3位及び聴衆賞
 テノール：宮里直樹 *第10回声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞
 ピアノ：日下知奈 *第3回ピアノ部門第3位 他
 曲目 ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
 プラームス：ハンガリー舞曲第1番、第5番
 プッチーニ：オペラ『トスカ』より“星は光りぬ” 他
 料金 金 自由1,000円



辰巳琢郎



井上静香
 ©A.Nakamura



猶井悠樹



青木篤子
 ©N.Ikegami



富岡廉太郎



上野由恵



本多啓佑



コハーン・イシュトヴァーン



黒木綾子



氏家 亮



宮里直樹



日下知奈

03. まちなかスペシャル Vol.2 よりみちコンサート ピアノで奏でる 愛のうた~バレンタインによせて~

お仕事帰りにちょっとよりみち ワンコインでクラシック入門。バレンタイン・イヴに2人の女性ピアニストによる愛のうたをお届けします。

平成27年2月13日(金) 19:00~20:00(18:30開場) 小ホール

出演 ピアノ：泊 真美子 * *第1回ピアノ部門第3位
 ピアノ：岡本麻子 ** *第2回ピアノ部門第1位
 曲目 チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より抜粋(2台ピアノ)
 シューマン=リスト：歌曲「ミルテの花」より「君に捧ぐ」*
 リスト：愛の夢 第3番 *
 ショパン：バラード第3番 **
 プラームス：「ハンガリー舞曲集」より(連弾)
 ラフマニノフ：ロマンス(2台ピアノ)
 ラヴェル：ラ・ヴァルス(2台ピアノ) 他
 料金 金 自由500円



泊 真美子



岡本麻子

チケット取扱：TS 国楽 E+ 音楽記
 主催：東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 共催：国立西洋美術館(9/25)/公益財団法人東京都公園協会(10/4、5 旧岩崎邸庭園)
 国立国会図書館国際子ども図書館(10/19)

Music Weeks in TOKYO 2014 国際連携企画 ～カーザ・ダムジカ～

昨年度、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダムジカ」と連携して行ったワークショップは大きな注目を集めました。今年度は更にバージョンアップして様々なワークショップを開催します！

casa カーザ・ダムジカ オリジナルワークショップ
文化 東京文化会館オリジナルワークショップ

01. ワークショップ～0歳から大人まで～

東京文化会館 東京芸術劇場 文京シビックセンター

1 とびだせ！おんがくたんけん隊 **文化**

日 付 平成27年2月5日(木)
会 場 東京芸術劇場 リハーサルルームL
時 間・対 象 10:00～
対象：生後6ヶ月～18ヶ月
11:30～
対象：生後18ヶ月～2歳



5 リズミカル・キッチン **casa**

日 付 平成27年2月7日(土)
会 場 文京シビックセンター 多目的室
時 間・対 象 14:30～
対象：小4～小6
16:00～
対象：一般(未就学児不可)



2 コオロギの大冒険 **casa**

日 付 平成27年2月6日(金)・8日(日)
会 場 東京芸術劇場 リハーサルルームL(6日)
東京文化会館 小ホール(8日)
時 間・対 象 6日 10:00～
対象：生後6ヶ月～18ヶ月
6日 11:30～
対象：3～5歳
8日 10:30～
対象：5～6歳(未就学児)



6 ムジカ・ピッコラ/ムジカリア **casa**

日 付 平成27年2月8日(日)
会 場 東京文化会館 リハーサル室B
時 間・対 象 10:30～
対象：3～4歳
12:00～
対象：小4～小6



3 ボディ・パーカッション **casa**

日 付 平成27年2月7日(土)
会 場 東京文化会館 小ホール
時 間・対 象 10:30～
対象：ファミリー(小1～小3)
12:00～
対象：一般(未就学児不可)



4 ミッション・イン・ポッシブル **casa**

日 付 平成27年2月7日(土)
会 場 文京シビックセンター 多目的室
時 間・対 象 10:30～
対象：小1～小3
12:00～
対象：中学生～大人



7 ワークショップ・コンサート **casa**

日 付 平成27年2月8日(日)
会 場 東京文化会館 小ホール
時 間・対 象 16:00～
対象：一般(未就学児不可)

8 新制作(A・B・C) **文化**

日 付 平成27年2月6日(金)・7日(土)
時 間・会 場・対 象 A 6日 11:00～
会場：東京芸術劇場 リハーサルルームM3
対象：18ヶ月～2歳
B 7日 12:00～
会場：東京文化会館 リハーサル室B
対象：4～6歳(未就学児)
C 7日 14:00～
会場：文京シビックセンター レクリエーションホール
対象：一般(未就学児不可) *60歳以上の方、大歓迎!!

料 金： 参加料500円(12月6日(土)発売)
チケット取扱： **TSE**、**e+**(のみ)

※詳細は東京文化会館ホームページにてご案内いたします。
※各ワークショップは約1時間を予定しております。途中入場はできません。

02. ワークショップ・リーダー育成プログラム

12月4日(木)～7日(日) / 平成27年2月5日(木)～8日(日)

東京文化会館 東京芸術劇場 文京シビックセンター

講 師 ジョルジュ・ブレングス(カーザ・ダムジカ エデュケーション・プログラム・コーディネーター)
カーザ・ダムジカ ワークショップ・リーダー

募 集 人 数 15～20名程度

募 集 期 間 9月1日(月)～9月15日(月・祝) ※消印有効

受 講 料 10,000円 ※応募方法等の詳細はホームページをご確認ください。

主 催： 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共 催： 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)
協 力： 上野学園大学 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
後 援： ポルトガル大使館 / 台東区教育委員会

チケットはこちらから

TSE 東京文化会館チケットサービス / 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>

ゲゲキ 東京芸術劇場ボックスオフィス / 0570-010-296 <http://www.gegeki.jp/t/>

都響 都響ガイド / 03-3822-0727 <http://www.tms.or.jp/>

ぴあ チケットぴあ / 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

e+ イープラス / <http://eplus.jp/t-bunka/>

チケット ローソンチケット / 0570-000-407 <http://l-tike.com/>

丸の内線 オリパスホール八王子(窓口のみ)

※都合により内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください
([はじめての楽しいコンサート] 及び「国際連携企画～カーザ・ダムジカ～」の一部ワークショップを除く)。
※料金は税込みです。
※東京文化会館チケットサービスは6月から11月末まで改修工事休館のため、窓口の販売はございません。
電話・インターネットのみ受付。
※東京芸術劇場ボックスオフィスでは窓口販売もごさいます。

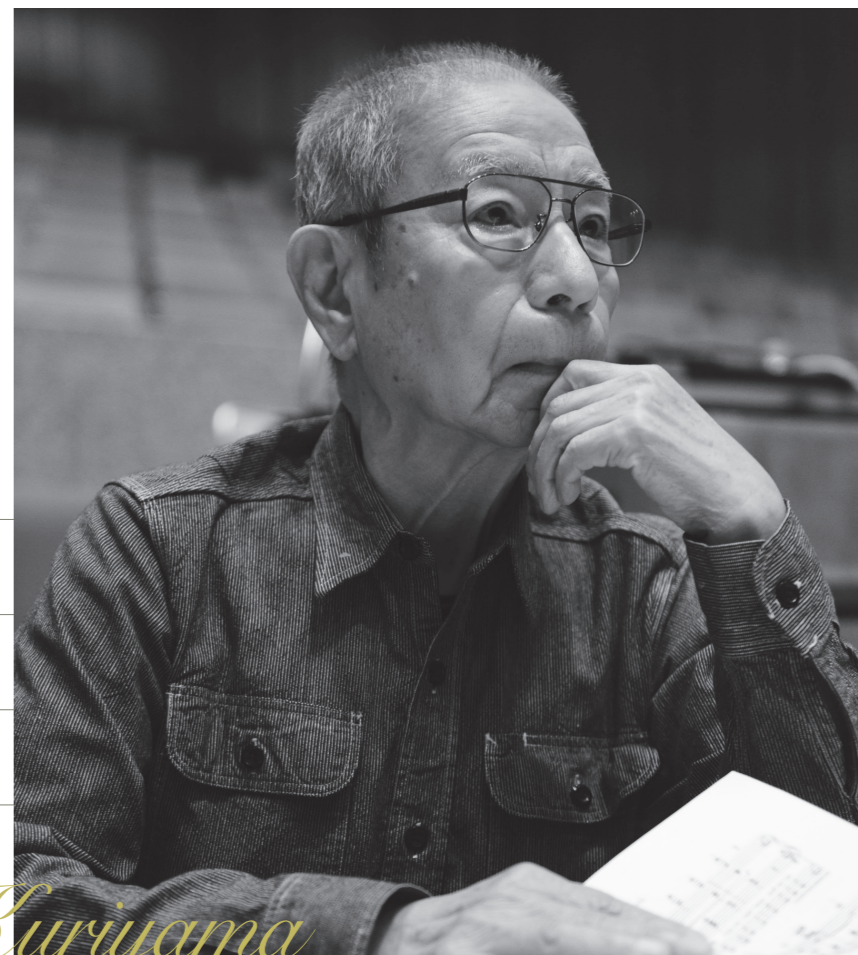
■お問合せ
東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表)
www.t-bunka.jp Twitter@tbunka_official

木之下晃の
レンズは語る
写真・文 / 木之下 晃

日本人の
姿を伝える
名演出家

栗山 昌良

Masayoshi Kuriyama



栗山昌良 2014年4月22日 東京二期会オペラ劇場「蝶々夫人」(ケネ・プロ) 東京文化会館 ©Akira KINOSHITA

20世紀後半、オペラは劇場機構の進歩と共に、映画やテレビなどの影響を受け、それ迄の音楽中心の舞台に、演劇的な視覚要素を必要とするようになり、演出家の存在が重要になってきた。今回は、ステージ上では直接観客と接点を持たない、演出家について話したい。

日本のオペラ草創期の1930年代に演出家として活躍したのが堀内敬三と青山杉作だった。会場は日比谷公会堂や歌舞伎座などが使われていた。

戦後の1950年代に、演出家青山圭男(1903年生)が登場。藤原義江率いる藤原歌劇団を中心に活躍した。青山は後にメトロポリタン歌劇場で『蝶々夫人』を演出。これが名作と評判を呼び長年上演が続き、その他、数々のオペラを演出。日本では最初の本格的な演出家となった。その青山に継いで登場したのが、今回紹介する栗山昌良である。

栗山は1926年東京生まれ。今年米寿を迎えたが矍鑠たる現役で、この4月に

は東京文化会館で二期会の『蝶々夫人』を演出し、栗山調といわれる日本人の和服姿を木目細かく描いて、美しい舞台作りを見せていた。

栗山は戦争中に、独逸学協会中学で学び、その中学時代から築地小劇場(戦時中は国民新劇場と改名)に足を運ぶ、演劇青年だった。20歳で陸軍に徴兵され、山口県萩市の砲兵連隊に配属。そこで終戦を迎えた。

46年に千田是也が主宰する舞台芸術アカデミーで、近代リアリズム演劇を学び、49年に俳優座に入団。50年から俳優座養成所の講師に、開設から閉所まで20年間、俳優教育に携わった。(この養成所は66年に桐朋学園の演劇科に移行) 64年から国立音大の講師となり、後に教授としてオペラの後進の指導にもあたってきた。

67年に青年座文芸演出部に移って、劇作家矢代静一らと組んで、数々の作品を上演した。

栗山のオペラ初演出は、メノッティの『アマールと夜の訪問者』を54年に二期会が俳優座劇場で上演した時である。その後、二期会と密接な関係が続き、東京文化会館では開館した61年12月に『セビリアの理髪師』を演出。指揮は大町陽一郎で、東京フィルがピットに入り、畑中良輔や立川澄人らがステージに立った。

63～66年には藤原歌劇団で岩城宏之などと東京文化会館を主体に積極的に展開。67年からは日本オペラ協会での日本人作品にも意欲を見せ、69年は畑中良輔と若杉弘らと東京室内歌劇場を創設。98年からは新国立劇場と関係を持つなど、この60年間一貫して日本のオペラ界の中核を担ってきた。

栗山演出の特徴は、演劇畑で築き上げてきた演技指導にある。なかでも現在の歌手の殆どが着物を着る生活習慣がないため、和服での立ち居振る舞いなど、日本人の美しい姿を後世に伝える貴重な存在である。

大ホール

3 水 18:30	ポリシヨイ・バレエ「ラ・バヤデー」 出演 ニキヤ: スヴェトラナ・ザハロワ(3日) アンナ・ニクーリナ(4日昼) オリガ・スミルノワ(4日夜) ソロール: ウラディスラフ・ラントラートフ(3日) ミハイル・ロプーヒン(4日昼) セミョーン・チュージン(4日夜) ガムザッティ: マリーヤ・アレクサンドロワ(3日) クリスティーナ・クレトワ(4日昼) エカテリーナ・クリサノワ(4日夜) 振付 マリウス・ブティバ ユリー・グリゴロヴィチ(改定振付、2013年版) 演奏 ポリシヨイ劇場管弦楽団 料金 S22,000 A18,000 B15,000 C11,000 D7,000 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040	 アンナ・ニクーリナ ©Damir Yusupov
4 木 12:00 18:30	ポリシヨイ・バレエ「ドン・キホーテ」 出演 キトリ: マリーヤ・アレクサンドロワ(6日昼) エカテリーナ・クリサノワ(6日夜) クリスティーナ・クレトワ(7日) バジル: ウラディスラフ・ラントラートフ(6日昼) ミハイル・ロプーヒン(6日夜) セミョーン・チュージン(7日) エスパーダ: デニス・ロチキン(6日昼・夜) ヴィタリー・ビクティミロフ(7日) 振付 マリウス・ブティバ、アレクサンドル・ゴールスキー アレクセイ・ファジェーチェフ(改定振付、1999年版) 演奏 ポリシヨイ劇場管弦楽団 料金 S22,000 A18,000 B15,000 C11,000 D7,000 問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040	 マリーヤ・アレクサンドロワ ©Damir Yusupov
6 土 12:30 18:30	東京都交響楽団 第780回定期演奏会 出演 大野和士(指揮) 曲目 パルトーク: 弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽 シュミット: 交響曲第4番 料金 S7,500 A6,500 B5,500 C4,500 Ex2,200 問合せ 都響ガイド 03-3822-0727	 大野和士 ©武藤章
8 月 19:00	東京文化会館 舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラ Vol.2 主催公演 P6 参照 出演 花柳壽輔 吉田 麻実れい 轟悠 他 園田隆一郎(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団 演目 葵の上(源氏物語より) ライラックガーデン いざやかぶかん パビヨン ボレロ 料金 S12,300 A10,300 B8,200 C5,200 D3,200 問合せ 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111	 轟悠 ©青柳聡
13 土 18:30	ときめきのシンフォニック・クリスマス 出演 鈴木慶江(S) ファン・ユンジョン(S) THE VOICE 飯坂 純(指揮) 東京オペラ・フィルハーモニック管弦楽団 曲目 クリスマスソング 他 料金 S5,500 A5,000 B4,500 C4,000 問合せ MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999	
14 日 15:00	東京バレエ団「くるみ割り人形」 出演 クララ: エフゲーニヤ・オプラスツォワ(19日・21日) 沖 香菜子(20日) くるみ割り王子: マライン・ラドメーカー (19日・21日) 梅澤 結貴(20日) 振付演出 レフ・イワノフ、ワシリー・ワイノネン 演奏 フレリー・オブジャンコフ(指揮) シアターオーケストラトキーオー 料金 (19日・21日) S14,000 A12,000 B10,000 C7,000 D5,000 E4,000 (20日) S10,000 A8,000 B6,000 C5,000 D4,000 E3,000 ※12月20日公演のみ5歳より入場可。 12月19日、21日は未就学児入場不可。 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888	 くるみ割り人形 ©Kiyonori Hasegawa
15 月 19:00	東京都交響楽団 第780回定期演奏会 出演 大野和士(指揮) 曲目 パルトーク: 弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽 シュミット: 交響曲第4番 料金 S7,500 A6,500 B5,500 C4,500 Ex2,200 問合せ 都響ガイド 03-3822-0727	 大野和士 ©武藤章

休館日: 9日(火)・10日(水)・29日(月)・30日(火)

小ホール

12 金 11:00	東京文化会館モーニングコンサート Vol.80 主催公演 P14 参照 出演 黒岩航紀(Pf) 曲目 ショパン: 幻想ポロネーズ 他 料金 自由500 問合せ 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111	
19:00	東京ハルモニア室内オーケストラ第49回定期演奏会 出演 佐藤卓史(Pf) 東京ハルモニア室内オーケストラ 曲目 ショパン: ピアノ協奏曲第1番 他 料金 指定4,000 問合せ 東京ハルモニア室内オーケストラ 03-6380-4560/090-1260-2934	 サンクトペテルブルグ 室内合奏団
13 土 14:00	岡田博美ピアノリサイタル2014 曲目 ショパン: ピアノソナタ第2番「葬送」 他 料金 S5,000 A4,000 B2,000 問合せ カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560	 岡田博美
14 日 14:00	津留崎直紀(Vc) & 海老彰子(Pf) 曲目 ラフマニノフ: チェロソナタ 他 料金 自由4,000 問合せ プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677	 津留崎直紀
19:00	山崎小桃ソプラノリサイタル 共演 佐藤光政(Br) 小島さやか(Pf) 曲目 プッチーニ: 歌劇「トスカ」より「歌に生き愛に生き」 他 料金 自由4,500 学生3,000 シルバー3,000 問合せ プロスベリティー 03-3908-8604	 山崎小桃
15 月 18:45	日本モーツァルト協会第563回例会 「ピアノ四重奏曲の幕開け」 出演 フォーレ四重奏団 曲目 モーツァルト: ピアノ四重奏曲 K493 他 料金 自由5,000 学生2,000 問合せ 日本モーツァルト協会 03-5467-0626	 西野 和生
16 火 18:30	室内合唱団 日唱 第195回定期演奏会 「クリスマス オラトリオ」 出演 山崎 滋(指揮・Og) 曲目 パッハ: クリスマス オラトリオ(抜粋) 料金 指定4,000(当日4,400) 自由3,500(当日3,800) ペア5,500(前売りのみ) 65歳以上2,500※ 学生1,000※ ※予約のみ 問合せ 日唱 03-3791-4088	 山崎 滋
17 水 19:00	小森輝彦(Br) & 服部容子(Pf) デュオリサイタル Vol.10 曲目 シューベルト: 冬の旅(全曲) 料金 S5,000 A4,000 学生2,500 問合せ センター・ヴィレッジ 03-5367-8345	 小森輝彦
18 木 11:00	創造・楽落らいぶ Vol.28 音楽家と落語家のコラボレーション 主催公演 P14 参照 出演 春風亭昇太(落語) 加藤玲名(Vn) 内田英介(作曲) 他 料金 自由500 問合せ 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111	
19:00	第12回 本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート 梯剛之デュオリサイタル 出演 梯剛之(Pf) ヴォルフガング・ダヴィッド(Vn) 曲目 フランク: ヴァイオリンソナタ op.14 他 料金 自由4,000 問合せ 日本点字図書館 03-3209-0241	 梯剛之
19 金 19:00	トリオ・ミニストレル コンサートツアー2014 曲目 フォーレ: ピアノ三重奏曲 他 料金 自由5,000 学生3,000 問合せ ルイムジーク 044-865-2702	
20 土 18:00	高橋アキ(Pf) / ピアノドラマティック Vol.10 曲目 シューベルト: ピアノソナタ第18番「幻想」 他 料金 自由4,000 問合せ デュオ・ジャパン 03-5428-0571	 高橋アキ

●掲載情報は2014年7月31日現在のものです。
●主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A) / アコーディオン(Ac) / バリトン(Br) / バス(Bs) / バスバリトン(Bs-Br) / バンドネオン(Bn) / カウンターテナー(CT) / コントラバス(Cb) / クラリネット(Cl) / チェンバロ(Cem) / ドラムス(Ds) / ユーフォニアム(Eu) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / フォルテピアノ(Fp) / ギター(Gt) / ヴィオラ・ダ・ガンバ(Gb) / ハープ(Hp) / ホルン(Hr) / キーボード(Key) / メゾソプラノ(Ms) / マリンバ(Mar) / オーボエ(Ob) / オルガン(Og) / ピアノ(Pf) / パーカッション(Pc) / ソプラノ(S) / サックス(Sax) / テノール(T) / トロンボーン(Tb) / テンバニ(Tim) / トランペット(Tp) / テューバ(Tu) / ヴィオラ(Va) / ヴィブラフォン(Vib) / チェロ(Vc) / ヴァイオリン(Vn) / ヴォーカル(Vo) / ソプラノサックス(S-Sax) / アルトサックス(A-Sax) / テナーサックス(T-Sax) / バリトンサックス(Br-Sax)

改修工事: 1日(月) ~ 11日(木)

21 日 14:00	室井摩耶子(Pf) トークコンサート 曲目 ハイドン: ピアノソナタ Hob.XVI.50 他 料金 自由5,000 問合せ ゼール音楽事務所 03-3995-5221	
22 月 19:00	第28回 二宮和子クラリネットリサイタル 共演 徳永二男(Vn) 三浦章宏(Vn) 百武由紀(Va) 古川展生(Vc) 曲目 モーツァルト: クラリネット五重奏曲 K581 他 料金 自由5,000 学生4,000 問合せ インターミュージック・トーキョウ 03-3475-6870	
23 火 14:00	第22回 和波孝禧 クリスマスバツハシリーズ XXII 曲目 バツハ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番 他 料金 A4,500 B4,000 問合せ AMATI 03-3560-3010	
19:00	第8回 鄭宇と仲間達コンサート 出演 鄭宇(揚琴・歌) 加賀美幸子(漢詩) 曹雪晶(二胡) 諸岡由美子(Vc) 銭騰浩(笙) 曲目 節日の天山 他 料金 自由4,200(当日4,500) 問合せ 鄭宇と仲間達コンサート 04-7162-2251	
24 水 19:00	アンサンブル・ロココ 第28回クリスマス・バロック・コンサート 曲目 バツハ: オルガンのためのトリオソナタ第5番 他 料金 自由3,500(当日4,000) 学生2,000 問合せ ルイムジーク 044-865-2702	
25 木 19:00	Music Weeks in TOKYO 2014 プラチナ・シリーズ第1回 山下洋輔(Pf) 主催公演 P10 参照 ～クリスマス・ジャズ・ナイト～ 曲目 当日発表 料金 S5,000 A4,000 B2,500 問合せ 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111	
26 金 18:30	普天間かおり コンサート2014 曲目 守りたいもの 他 料金 指定4,500(当日4,800) 問合せ 東京労音 03-3204-9933	
27 土 13:00	大萩康司ギターリサイタル 曲目 ヨーク: サンバースト 他 料金 指定4,200(当日4,500) 問合せ 東京労音 03-5774-3030	
31 水 14:00 ※21:30 終演予定	ベートーヴェン弦楽四重奏曲 [8曲] 演奏会 出演 カールデット・エクセルシオ 古典四重奏団 ルートヴィヒ弦楽四重奏団 曲目 ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲「ラズモフスキー1〜3番」 他 料金 指定8,000 問合せ ミリオンコンサート協会 03-3501-5638	

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館及び他会場で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。ぜひご利用ください。

- ◆営業時間 10:00~18:00(11月末まで) 電話・webのみ
10:00~19:00(12月より) 窓口・電話・web
03-5685-0650
- ◆TEL 03-5685-0650
- ◆HP http://www.t-bunka.jp/ (24時間受付)
- ◆休業日 9月・10月 無し
11月・12月 未定

vol.56 会館からのお知らせ

平成26年度の改修工事休館について

東京文化会館は、平成26年度において、施設・設備の改修工事のため約半年間休館いたしております。この休館中の施設貸出の受付等を下記「東京文化会館リニューアル準備室」にて行います。皆様には、大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をいただきますよう何卒よろしく願いたします。

【館内各施設の休業期間】

大ホール	6月1日から11月30日まで
小ホール	5月1日から12月11日まで
会議室	5月12日から12月15日まで 12月16日以降未定(調整中)
リハーサル室	6月1日から11月30日まで 12月1日以降未定(調整中)
音楽資料室	5月12日から12月15日まで 12月16日以降未定(調整中)

【東京文化会館リニューアル準備室】(平日9:00~17:00、土日祝休み)
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-12
Tel.03-3828-2111 Fax.03-3828-1601
(秋葉原駅・御茶ノ水駅・神田駅から徒歩7~8分)

東京文化会館友の会のご案内

東京文化会館では当館をもっと楽しみたい舞台芸術ファンのため、友の会を運営しております。当館指定公演の先行発売・割引チケット・招待公演の抽選等、さまざまな特典を毎月ご案内しております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。

お問合せ
東京文化会館友の会事務局
03-3828-1696(平日9:00~17:00、土日祝休み)

vol.56 音脈 表紙について

今号より、音脈の表紙デザインが変わりました。Vol.56では東京文化会館大ホールの写真を散りばめていますがお気づきでしょうか。曲線の板は彫刻家 向井良吉による舞台両脇のレリーフ(音響拡散体)、三角が並んでいますのはチューリップをイメージした天井の照明、その上の横線はスライド方式で動く音響反射版です。東京文化会館の設計は日本建築界をリードしてきた故前川國男によるものです。改修工事終了後、オペラ、バレエ、コンサート等でご来館の際には、客席からぜひご覧ください。

立ちどまらない保険。
MS&AD あいおいニッセイ同和損保



優しくするには強くならなきゃ。
あなたをさまざまなリスクから守るために、
自動車保険、火災保険、ケガの保険、
いろんな保険を、ひとつのシリーズで。
わかりやすくて頼りになる保険です。



タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
公務部営業第二課

〒103-8250
東京都中央区日本橋 3-5-19
TEL:03-6734-9985

<http://www.aioinissaydowa.co.jp/>

Restaurant Forestier

レストラン フォレスティエユ 精養軒



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



TEL 03-3821-9151

(東京文化会館 2階)

<http://www.seiyoken.co.jp>

日本三名泉の
ひとつ
有馬で憩う

心地よい奏と
心温まる
ひととき。



有馬グランドホテル

<http://www.arima-gh.jp/>

神戸中心部から好アクセス!

新神戸駅から車、電車で約30分

tel. 078-903-5489 兵庫県神戸市北区有馬町 1304-1

日本最古の温泉地に、クラシック界期待のアーティスト!
Special concert



ピアニスト
水谷 桃子 Momoko Mizutani

“クリスマス”クラシックミニコンサート

12/24(水)・25(木) ご宿泊のお客様
無料

◆Time 1部 20:30~ / 2部 21:30~
◆Place 有馬グランドホテル1階ラウンジ「ルシェッロ」

Profile
兵庫県出身
2007年 第5回東京音楽コンクール ピアノ部門第2位

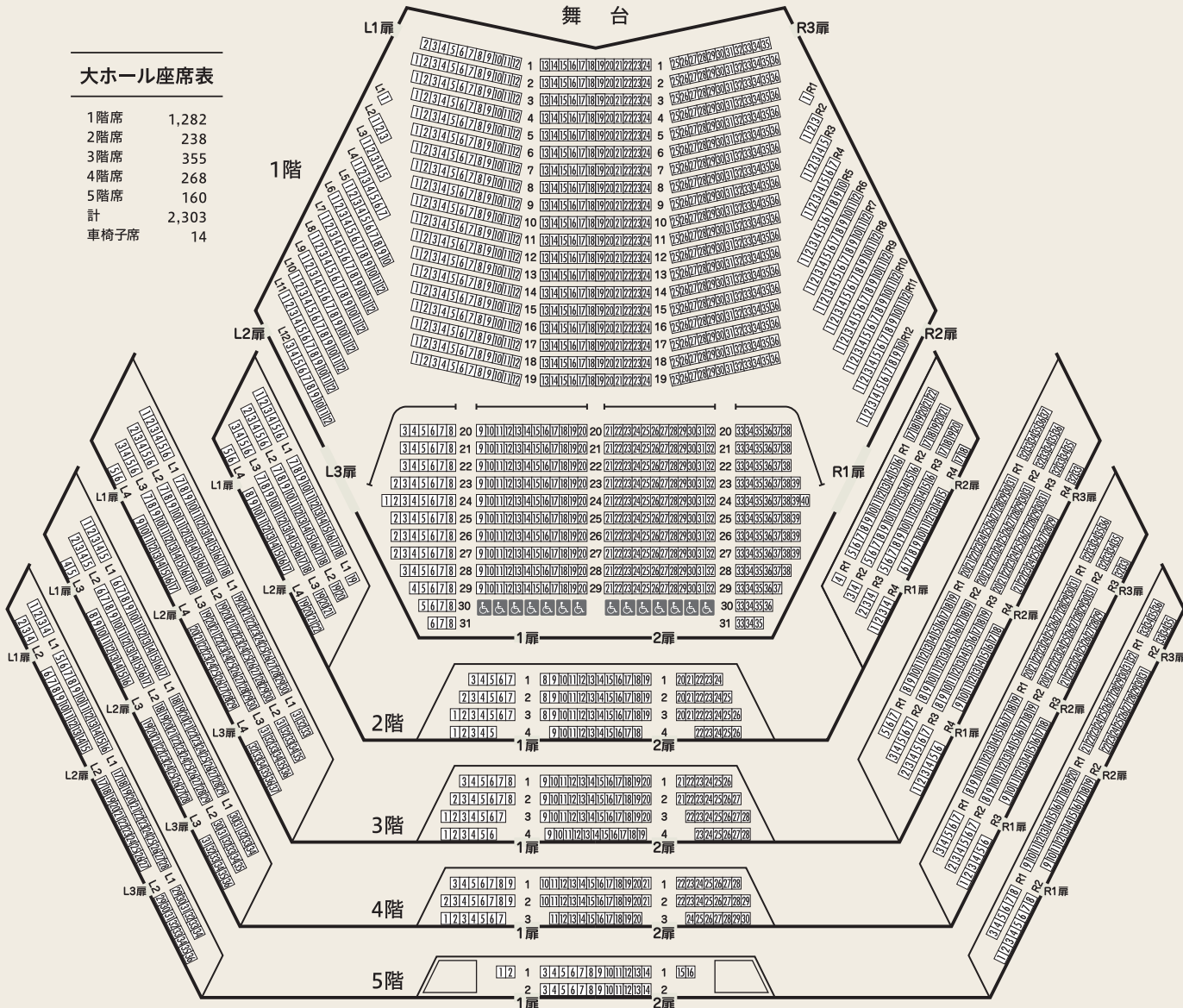
2015年度 クラシックミニコンサートは、3月以降開催予定です。

※詳しくはお問い合わせください。



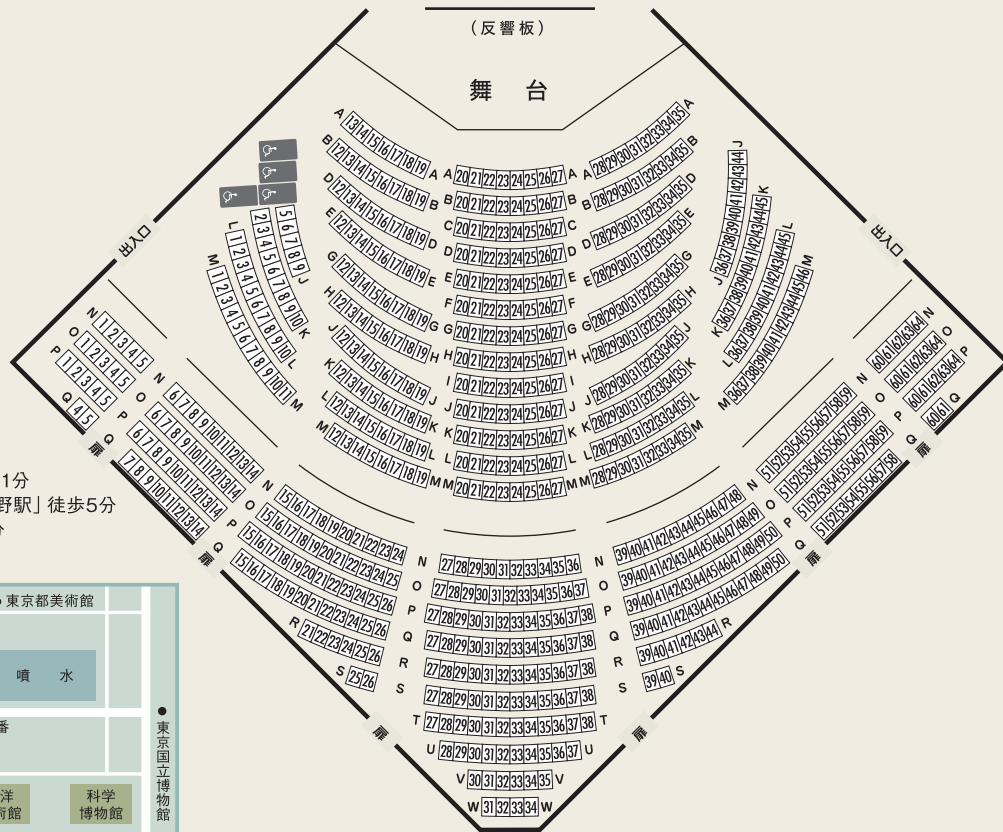
大ホール座席表

1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14



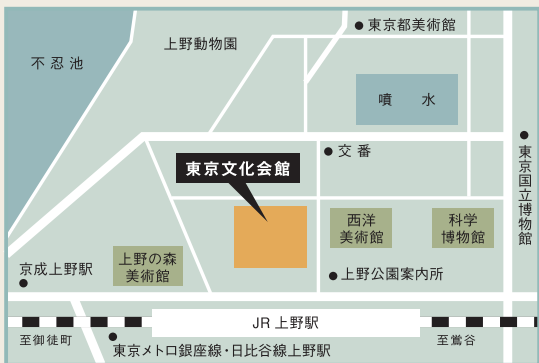
小ホール座席表

下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4



Access

- JR線 「上野駅」公園口 徒歩1分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
 - 京成線 「京成上野駅」徒歩7分
- ※当館には駐車場はございません。



※ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。
あらかじめご了承ください。